

平成26年度 新発田市国語部 活動報告

部長 三部 美和子

1 研究主題 「言葉を大切にすることの育成」

2 研究の概要

- 4月10日(木) 第1回国語部専門部会
部長・副部長の選出, 研修テーマ・活動計画の立案
- 6月6日(金) 第2回国語部専門部会 講演会(会場:七葉小学校)
講師:聖籠町立亀代小学校 教頭 中原 広司 様
- 10月31日(金) 第3回国語部専門部会 研究授業(会場:紫雲寺小学校)
授業者:新発田市立紫雲寺小学校 教諭 星野 郁子
指導者:新潟市立笹山小学校 校長 金子 淳嗣 様

※ 上記3回の他に, 9月18日(木)に有志部員による第3回国語部専門部会(研究授業)の指導案検討会を実施。(会場:紫雲寺小学校)

3 研究の実際

(1) 第2回 国語部専門部会

「言葉を大切にすることの育成～国語が好きになる授業のネタ, 教材から～」と題して, 国語の力を高めるための具体的な指導法について講演していただいた。

はじめに, 国語の授業で使える小ネタを模擬授業形式で教えていただいた。「いつでも, どこでも, テンポよく」「子どもが自ら繰り返す」「複数の答えがある」「間違いを大切に」という4つのポイントを押さえた実践で, 翌日の授業からすぐに活用することができた。単調な反復練習ではなく, 子どもが夢中になる意図的な学習ゲームを通して国語の力を付けられることを, 実感をもって学ぶ有意義な時間となった。

次に, すぐに使える授業の教材や単元開発についてもご指導をいただいた。単元開発の視点や, 言葉を大切にしたい教材文とのかかわらせ方などを学ぶことができた。

(2) 第3回 国語部専門部会

「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 国語3下)の第4場面を読み, 本文の叙述をもとにちいちゃんの気持ちを考える学習場面であった。はじめに, ちいちゃんの気持ちを, 短い言葉でノートに書き表した。その後, 教材文の根拠とした部分に線を引き, 友達と交流した。

協議会では, 主張(ちいちゃん気持ち)・根拠(着目した文)の他に, 理由(なぜその文からそのような気持ちだと考えたのか)を話させることの必要性や考えさせる内容を明確にした課題設定(主人公の心情と読者の感想を混同しない)の大切さなどが話題になった。また, ご指導の時間には, 物語文の授業改善の視点についてお話をいただいた。「細部を積み上げて全体は見えて来ない」というご指導があり, 「言葉を大切にしたい」という言葉にとらわれて, 細部ばかりに着目して読ませてもらおうかと, 物語文の指導を考え直すきっかけとなった。授業者が, その物語文を通して身に付けさせたい力や主題を明確にし, さらに, 主題に気付かせるために着目させたい言葉や文を吟味して提示するという教材研究こそが大切であると感じた。

4 成果と課題

第2回, 第3回ともに, 授業に活かせる具体的な実践や授業改善の視点のお話を聞くことができ, とても参考になった。昨年度の反省を活かし, 研究授業の指導案事前検討会を行ったことで, その教材文のもつ国語的な価値や大切にしたい指導事項が話題になり, 授業のねらいや指導上の留意点などを共有することができた。協議会でも活発な意見交換がなされ, 国語部全体で学ぶ雰囲気ができ, 授業者も参加者も多くを学ぶことができた。

研究主題や第2回専門部会の内容について, 「授業者のために」「国語部全員で創る授業」という観点から, 積極的に見直しを進めていきたい。